

1. 化学品および会社情報

項目	内容
製品名	N2（混合物）
含有成分	テトラデカン、デカン、3-メチルノナン、5-メチルノナン
推奨用途	粘度計および密度測定機器の校正・性能確認用標準液
供給者（国内責任事業者）	株式会社エスティーエム 埼玉県入間郡毛呂山町川角 502-6 TEL 049-276-1060 FAX 049-276-1059
製造者（海外）	Cannon Instrument Company 2139 High Tech Rd., State College, PA 16803-1733, USA

2. 危険有害性の要約

危険有害性の種類	区分（GHS/JIS）	H-文言
引火性液体	区分3	H226: 引火性液体及び蒸気
誤えん有害性	区分1	H304: 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
急性毒性（吸入）	区分4	H332: 吸引すると有害
皮膚刺激性	区分2	H315: 皮膚刺激
眼刺激性	区分2	H319: 強い眼刺激を起こす

内容

表示

GHS 絵表示



注意喚起語（Signal word）

危険

P-文言

P210	火気・高温・火花・発火源から離して取扱う - 禁煙など
P261	蒸気・ミスト等の吸入を避ける
P280	保護具を着用（手袋、眼・顔保護具など）
P301+P310	【誤飲】 医師または毒性センターに直ちに連絡を
P331	吐かせてはいけない
P403+P235	換気の良い冷暗所に保管
P501	地域法令／専門の廃棄業者に従って処理

3. 組成及び成分情報

成分名	CAS No.	含有率（質量%）	GHS クラス・区分（H-コード）
テトラデカン	629-59-4	>95 %	皮膚刺激 2（H315）、眼刺激 2（H319）、誤えん毒性 1（H304）
デカン	124-18-5	<5 %	急性毒性（吸入） 4（H332）、引火性液体 3（H226）
3-メチルノナン他	-	0.12 %	管理対象監視成分

4. 応急措置

経路	応急措置
吸入	新鮮空気へ移動し呼吸困難時は人工呼吸、医師の診察を受ける。
皮膚接触	15分以上水と石けんで洗浄。症状継続時に医師受診。
眼への暴露	15分以上洗眼、まぶたを開きつつ洗う。症状持続なら眼科受診。
飲み込み	嘔吐禁止。頭部を低くし口をすすぐ。直ちに医師へ。
応急処置者	呼吸用保護具・手袋・眼保護具装着。火源除去。

5. 火災時の措置

- **使用可能な消火剤**：二酸化炭素、耐アルコール泡、乾燥粉末、水スプレー
- **特有の危険性**：燃焼によりCO, CO₂の発生。容器加熱により破裂の恐れ。
- **消火者保護具**：正圧式SCBA、自営呼吸器、耐火・耐薬品防護服、保護手袋、防護眼鏡／面、長靴、ヘルメットを装備。
- **消火活動上の注意**：風上・遠距離から消火し、周囲容器の冷却を行うこと。消火水・残渣は環境汚染防止のため適切に回収・処理。

6. 漏出時の措置

人体への保護措置

- 漏洩現場への無関係者の立ち入り禁止。必要に応じて区域を封鎖し、風上から接近。
- 蒸気・ミスト吸い込み防止のため、有機蒸気用防毒マスク、保護手袋、ゴーグル、防護衣、耐油長靴の着用を徹底。
- 火気・静電気の除去と換気を行い、蒸気の拡散を抑制。

環境汚染防止策

- 漏洩液が下水道、河川、土壌へ流出しないよう、土嚢やバリケード等で遮断する。
- 漏出直後に、地方自治体や環境主管部署への通報を含む報告体制を整備。

封じ込めおよび収集方法

- 吸収材（砂、珪藻土、バーミキュライトなど）で漏洩液を吸着・固化し、密閉容器に回収。
- 静電気による発火対策を徹底（工具の接地、帯電防止型の機器使用など）。
- 回収後は適切にラベル表示し、廃棄業者へ依頼。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い時の注意：

- 換気設備（局所排気または全体換気）を使用し、蒸気・ミストの発生を抑制。
- 火気・高温・静電気を避け、エアロゾルや粉じんの発生を防止。
- 飲食・喫煙禁止、作業後の手洗い・うがい、汚染衣類の再使用禁止。
- 強酸、強塩基、酸化剤などとの混触回避。
- 使用場面に応じて保護具の着用（セクション8参照）。

衛生管理：

- 作業後の手洗い・うがいを励行。休憩エリアへ汚染された保護具を持ち込まない。
- 作業場へ無関係者の立ち入りを制限。

保管条件：

- 容器は密閉し、冷暗所で換気良好な状態で直立保管。直射日光・高温・多湿を避ける。
- 容器に識別ラベルを貼付。混合不可物質との接触を避けて保管。
- 子供や無関係者の手の届かない場所に保管。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度・許容濃度

- テトラデカン：TWA 40 ppm、STEL 60 ppm（他国規制値）
- デカン：TWA 40 ppm、STEL 60 ppm（他国規制値）
- 3-メチルノナン、5-メチルノナン：国内法定値なし（他国規制値あり）

工学的対策

- 局所排気や換気設備を利用し、蒸気・ミストの拡散を防止
- 防爆仕様設備やプロセスエンクロージャーの導入を検討

個人用保護具

用途	保護具内容
呼吸用	有機ガス用防毒マスク（国家検定合格品）
手の保護	ニトリルゴム製または同等の耐溶剤手袋
眼の保護	耐薬品ゴーグルまたはフェイスシールド
皮膚・身体	長袖防護衣、耐油作業衣、静電気対策

衛生対策

- 作業後の手洗い・うがいを徹底。汚染衣類の洗浄、飲食禁止
- 洗眼器・シャワーを作業場に設置

環境管理

- 排気・排水が環境規制に適合するよう制御設備の導入
-

9. 物理的及び化学的性質

項目	記載内容
外観／状態	無色透明液体
匂い	炭化水素様
融点／凝固点	< 6° C
沸点範囲	
引火点 (閉カップ)	約 65° C以上 (混合物として推定)
粘度	動粘度 : 2 cSt @ 40° C
可燃性	可燃性液体
水溶性	水に不溶、他の有機溶媒に可溶
蒸気圧・蒸気比重	情報なし
自動着火温度／爆発範囲	情報なし

10. 安定性及び反応性

- 安定性：通常使用・保管条件下では反応性なし。
- 危険反応の可能性：通常の使用条件下では反応しない
- 避けるべき条件：火気、高温、静電気、酸化剤との接触。
- 危険な分解生成物：燃焼時にCO、CO₂の発生可能性あり。危険な重合なし。
- 化学的安定性：常温・常圧で安定、分解しない。

11. 有害性情報

急性毒性：

- テトラデカン：経口 LD₅₀ >15,000 mg/kg（ラット）、経皮 LD₅₀ >5,000 mg/kg（ウサギ、刺激なし）
- デカン等：吸入 LC₅₀ >4.95 mg/L（4h、ラット）、経口・経皮 LD₅₀ 高値

刺激性・腐食性：

- 皮膚：軽度の乾燥や亀裂等の可能性あり
- 眼：血流・涙の増加など軽度刺激性

感作性：該当する報告なし

発がん性・変異原性・生殖毒性：いずれも該当分類なし

特定標的臓器毒性（ばく露）：

- 短期：中枢神経抑制（めまい・吐き気）や呼吸器刺激の可能性あり
- 長期：該当なし

誤えん有害性：

- 誤飲による肺への誤えんの可能性があり、**区分1（H304）**

12. 環境影響情報

水生毒性：

- 淡水ミジンコ (Daphnia magna、48 h) : $EC_{50} \approx 0.029$ mg/L (非常に有害)
- 淡水魚 (例：Oncorhynchus mykiss、96 h) : $LC_{50} \approx 18$ mg/L (有害)

生分解性： データなし (必要に応じ追記可)

生体蓄積性： テトラデカン $\log P \approx 7.2$ 、デカン $\log P \approx 5.1$ 、生物蓄積の可能性あり

移動性・PBT評価： 現時点では非該当 (評価の追加が望ましい)

その他の影響： 漏出や消火後の流出液が環境水域に入らないよう、隔離・回収措置を確実に実施。

13. 廃棄上の注意

- 本物質や未使用残渣は、家庭廃棄せず、法令に基づき都道府県等の許可を得た産業廃棄物処理業者へ委託してください。
- 汚染された容器や包装は再利用せず、内容物を除去し密閉の上、専門業者に廃棄を委託してください。
- 漏洩や消火に使用された液体は、下水道、河川、土壌へ流さず、必ず隔離・回収後に処理してください。
- リサイクルが困難な場合は、適正な焼却処理や封じ込め処理を実施し、処理結果が法令に適合していることを確認してください。

14. 輸送上の注意

項目	内容
UN番号	該当なし（国際輸送規制上は非危険物）
輸送上の名称	該当なし
危険物クラス	該当なし
包装等級	該当なし
適用規則	ADR（陸上）、IMDG（海上）、IATA（航空）：いずれも規制対象外
海上汚染性	該当なし
少量輸送	限定数量適用外
その他	未洗浄容器の切断・溶接・研磨は禁止（残留蒸気による爆発リスク）

15. 適用法令

法令名	該当性	備考（管理番号や分類など）
労働安全衛生法（安衛法）	該当	GHS 区分によりラベル表示・SDS 提供義務あり（法第 57 条）
毒物及び劇物取締法（毒劇法）	非該当	デカン、テトラデカンは毒劇物指定外
特化則／有機則（有機溶剤中毒予防規則）	該当	第 2 種有機溶剤等として作業環境測定や健康診断義務あり
PRTR 法（化管法）	該当	デカンは第 1 種指定化学物質
消防法（危険物規制）	該当	デカン混合物は非水溶性第 4 類第 3 石油類・危険等級 III など該当
化学物質審査規制法（化審法）	非該当	優先評価化学物質等の指定状況を記載（必要に応じ）

16. その他の情報

- 発行日：2014年4月24日
- 改訂日：2025年8月15日
- 改訂番号：2
- 略語：

GHS：Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals

TWA：Time Weighted Average

STEL：Short-Term Exposure Limit

OEL：Occupational Exposure Limit

- 参考文献：

- 欧州CLP 規則 (EC 1272/2008)
- JIS Z 7252:2019、Z 7253:2019
- GHS 分類ガイダンス (経済産業省)
- 経済産業省 GHS分類ガイダンス
- 各成分のSDS (製造者公表値)

免責事項

本SDSは、現時点で入手可能な情報と知見に基づいて作成したものであり、安全性を完全に保証するものではありません。本資料は化学品の適正な取扱い、安全対策、法令遵守のための参考資料であり、特定の使用条件における適合性や性能を保証するものではありません。使用者は、適用される法規制および使用条件に従って本製品を安全に取り扱う責任を負います。

安全データシート終わり